

北上の民俗芸能を解説

北上市民俗芸能公演2019

北上市民俗芸能公演2019みんなで知ろう～北上の民俗芸能～は2月24日、日本現代詩歌文学館で行われました。公演機会の少ない芸能団体を中心に、発表の機会を設け活動の活性化を図ろうと初めて企画。東北文化財映像研究所所長の阿部武司さんによる民俗芸能の解説後、中野田植踊、早池峰岳流更木神楽、行山流口内鹿踊、立花八土踊、横川目神楽保存会が舞を披露しました。また、トークセッションでは後継者不足が問題として挙げられ意見が交わされました。



練習の成果を発揮する中野田植踊(下藤根郷土芸能保存会)の子どもたち



全国大会へ向け、一人ずつ意気込みを伝えた同少年団の皆さん

全国へ向けて一致団結

いわさきソフトスポ少全国大会出場報告

いわさきソフトボールスポーツ少年団は1日、本庁舎を訪れ高橋敏彦市長に第12回春季全日本小学生女子ソフトボール大会(日本ソフトボール協会主催)への出場を報告しました。同少年団は平成20年に発足。市内唯一のソフトボールチームです。大会は29～31日に岐阜県で開催され、県内から2チームが出場。1回戦は29日、群馬県の宝泉プリティーズと対戦します。主将の及川由唯さんは「元気を忘れず、日本一を目指して頑張ってきます」と抱負を話していました。

北上のおみやげにどうぞ

北上の新作おみやげ発表会

北上の新作おみやげ発表会(県南広域振興局、南いわて食産業クラスター形成ネットワーク主催)は2月20日、市内ホテルで行われました。ラグビーW杯2019などで来訪する観光客向けに、岩手を代表する土産品を作ろうと初めて企画されました。(株)アリーブが、北上市の新たな土産品として地元食材を使った「イタリアンチーズせんべい北上ガレット」を開発。展勝地の桜や北上産のアスパラガス、鬼をイメージした唐辛子を使い、日持ちするガレットに仕上げました。



開発した商品を紹介する(株)アリーブ取締役の小野寺伸也さん



三味線などのステージに耳を傾ける、たくさんの来場者

民俗村の新たな魅力発見

民俗村の雪灯り

民俗村の雪灯りは2月16日、みちのく民俗村で開催されました。市内で雪灯りを楽しめる場所を作ろうと、北上市地域おこし協力隊の深津咲奈さんが企画。ラクロス体験やワークショップ、夏油古民家Cafe小屋や産直ありがだあんちゃんなどの出店もあり、たくさんの人でにぎわいました。夜には、雪像や約600個の雪灯籠が灯され民俗村全体が幻想的な雰囲気に包まれました。ラクロスを体験した越田創志君(黒沢尻西小2年)は「難しかったけど楽しかった」と話していました。

情報共有で地域教育力向上 第3回稲瀬町地域教育力向上フォーラム

第3回稲瀬町地域教育力向上フォーラム(稲瀬町自治協議会主催)は2月23日、同地区交流センターで行われました。全国的に地域のつながりが希薄化する中、地域教育力を高めるための活動の情報を共有し理解を深めようと開催されました。同地区在住で全国規模の賞を受賞した、照岡小学校PTA、昆野スミ子さん、菊池真知子さんをパネリストに迎え、受賞の思いや活動内容を対話形式で紹介。参加した約50人は、3人の話に興味深く耳を傾けていました。

皆さんの
活動内容を
紹介する
パネリストの
皆さん



遊歩道からザゼンソウを見つけ、じっくり眺めたり写真に納める来場者

春の訪れを感じて ざぜん草まつり

ざぜん草まつり(藤根自治振興会主催)は10日、ざぜん草の里などで行われました。紫褐色の仏炎苞ぶつえんほうに包まれた花の形が座禅を組む僧に似ていることから名前が付けられた「ザゼンソウ」。メスからオスに変わる特徴があり、メスの間の約1週間だけ約23℃に発熱します。今年は暖冬の影響から雪がなく、周囲の雪を解かす様子は見られませんでした。来場者は足を止めて観察していました。また、郷土芸能や出店、ザゼンソウに関する講演もあり大勢の人でにぎわいました。

百歳 これからもお元気で

伊藤貞さん(成田)

伊藤貞さんが百歳を迎え13日、自宅で祝う会が開かれました。貞さんは、大正8年3月13日生まれ。19歳で故正人さんと結婚し、子5人、孫8人、ひ孫5人に恵まれています。家族と共に、リンゴやブドウなどの果樹栽培をしながら子育てをしてきました。

現在は、毎朝かかさず新聞を読み、時間があると読書をして過ごしているそうです。コーヒーが好きだとい「毎朝息子が入れてくれたドリップコーヒーを飲んでいきます」と笑顔で話していました。

貞さん(中央)
花束を手に、
家族などから
祝福を受ける



花束を手に、
家族などに
囲まれ祝福を
受ける
密子さん(中央)

後藤密子さん(相去町)

後藤密子さんが百歳を迎え2月25日、自宅で祝う会が開かれました。密子さんは大正8年2月20日生まれ。17歳で故末治さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫8人に恵まれています。子どもが幼いうちに夫が戦死し、女手一つで家事や子育てをしながら農業にも力を注いできました。ボタン・シャクナゲなどの花作りや、近所の人と集まって生け花や習字をすることが楽しみだったとのこと。好き嫌いなく何でも食べ、ストレスをためないことが長生きの秘訣だそうです。